

抗体導入試薬
Ab-Carrier™ P-101

製品情報
ver. 1.2

使用期限 ・製造から6ヶ月間(4°C)

製品仕様

- ・エンドキシシン量 <0.05 EU / μ L
- ・抗体導入活性(相対値)* 80 ~ 150 %
* 抗体導入活性は、 β -ガラクトシダーゼ標識 goat IgG を HeLa 細胞に導入し、4時間後の導入量を β -ガラクトシダーゼ活性により算出しました。数値は、Lot N12J15 の活性を 100 とした場合の相対値(%)を示しています。

製品の特長

- ・血清 (10% FBS) 存在下で使用できます。
- ・Ready-to-use のため、簡便かつ迅速に抗体を導入できます。
- ・細胞毒性が非常に低く抑えられています。
- ・モノクローナル/ポリクローナル抗体のいずれの導入にも使用できます。
- ・蛍光標識抗体や酵素標識抗体の導入も可能です。

製品内容

- ・Ab-Carrier 12.5 μ L \times 1 (P-101-25), 12.5 μ L \times 4 (P-101-100)
- ・保存条件 4°C (6ヶ月以上の長期保存をする場合は、-20°Cで保存して下さい。)
- ・保存液 PBS (25mM glycine 含有)

使用回数 (HeLa 細胞の使用例)

| 商品コード | 標準使用回数 (24 well プレート ; 1 μ g IgG / well で使用した場合) |
|-----------|---|
| P-101-25 | 25 反応 |
| P-101-100 | 100 反応 |

標準プロトコール (HeLa 細胞の使用例)

1. 抗体導入の24時間前に下記の細胞数を播種する。

| 培養サイズ | 推奨細胞数 |
|--------------|---|
| 6-well プレート | 1.0 ~ 2.0 \times 10 ⁵ cells / well |
| 12-well プレート | 0.5 ~ 1.0 \times 10 ⁵ cells / well |
| 24-well プレート | 0.25~ 0.5 \times 10 ⁵ cells / well |
| 96-well プレート | 0.5 ~ 1.0 \times 10 ⁴ cells / well |

2. 抗体を PBS で希釈し、0.1 ~ 0.2 mg / mL に調整する。
3. 抗体 1 μ g に対して、Ab-Carrier 0.5 μ L を添加し、よく混和した後、室温で 20 分間静置する。
4. 細胞に 3. の反応液を添加し、37°C、5% CO₂ 存在下、2 ~ 4 時間* 培養する。

| 培養サイズ | 推奨抗体添加量 | 推奨 Ab-Carrier 添加量 |
|--------------|------------------------------|--------------------|
| 6-well プレート | 2 ~ 4 μ g IgG / well | 2 μ L / well |
| 12-well プレート | 1 ~ 2 μ g IgG / well | 1 μ L / well |
| 24-well プレート | 0.5 ~ 1 μ g IgG / well | 0.5 μ L / well |
| 96-well プレート | 0.1 ~ 0.2 μ g IgG / well | 0.1 μ L / well |

* 抗体種、細胞株によって最適な反応時間は異なりますので、予備検討試験等により、反応時間を最適化して下さい。

実施例

HeLa 細胞を 12-well plate に播種
(1.0×10^5 cell / well; 培地液量 MEM (+10% FBS) 1 mL / well)
↓ 37°C, 5% CO₂ 存在下, 24 時間 培養
FITC 標識 IgG (0.1 mg/mL) 20 μL に Ab-Carrier 1 μL を加え、よく混和
↓ 室温, 20 分間 静置
24 時間培養後の HeLa 細胞に反応液 21 μL / well を添加
↓ 37°C, 5% CO₂ 存在下, 4 時間 インキュベーション
培地を除去し、PBS で 1 mL / well × 2 回 洗浄
↓
0.25% Trypsin-EDTA 100 μL / well を添加
↓ 37°C, 5% CO₂ 存在下, 2 分間 インキュベーション
MEM (+10% FBS) 1 mL を添加
↓
FACS

| 抗体導入活性 (FACSにより評価) | |
|--------------------------|-------|
| 上段: 抗体が導入された細胞の割合 (%) | |
| 下段: 細胞あたりの抗体導入量 (相対蛍光強度) | |
| ヤギ ポリクローナル IgG | 93.2% |
| | 14.0 |
| ウサギ ポリクローナル IgG | 92.6% |
| | 17.9 |
| マウス モノクローナル IgG1 | 81.1% |
| | 3.6 |
| マウス モノクローナル IgG2a | 78.1% |
| | 4.8 |

注意点

・NaN₃ 等の防腐剤 について

防腐剤として NaN₃ などを含む抗体をそのまま使用すると、防腐剤の細胞毒性により抗体導入活性が低下する可能性があります。脱塩やバッファー置換等により防腐剤を除去してからご使用下さい。

・冷凍保存について

Ab-Carrier を解凍した際に、超音波洗浄器にて 10 秒間程度処理をしてからご使用下さい。

注文情報

| 品名 | 内容 | 商品コード |
|-----------------------|-------------------------------------|-----------|
| ・抗体導入試薬 Ab-Carrier | 12.5 μ L \times 1 本 (25 反応分*) | P-101-25 |
| | 12.5 μ L \times 4 本 (100反応分*) | P-101-100 |

* (24 well プレート ; 1 μ g IgG / well で使用した場合)

関連製品 (抗体の精製や、市販抗体のブラッシュアップにご利用下さい。)

| 品名 | 内容 | 商品コード |
|--|----------------------------------|----------|
| ・抗体精製アフィニティレジ Ab-Capcher | バルクゲル 2 mL | P-002-2 |
| | バルクゲル 10 mL | P-002-10 |
| ・抗体精製アフィニティカラム Ab-Rapid PuRe (シリンジ用) | カラム 2本 | P-012-2 |
| ・抗体精製アフィニティカラム Ab-Rapid SPiN (スピン用) | スピнкаラム 10本 (2 mL 空チューブ 20本入) | P-013-10 |
| ・高結合 抗体精製アフィニティレジ Ab-Capcher ExTra | バルクゲル 2 mL | P-003-2 |
| | バルクゲル 10 mL | P-003-10 |

本製品は、試験・研究用です。

プロテノバ株式会社

〒769-2604

香川県東かがわ市西村1488番地1

TEL 0879-49-0702 FAX 0879-49-0703

ホームページ <http://protenova.com>